

夏の一大イベント! 第51回稚内みなと南極まつり開催!!



8月6日(土)・7日(日)、「第51回稚内みなと南極まつり」が開催され、延べ44,000人が訪れました。6日の「北海てっぺんおどり」、「南極おどり交流会」に34団体、約1,100人が参加し、賑わいました。7日には新企画「パフォーマーの祭典in稚内観光物産まつり」が行われ、ストリートダンスや「宗谷ご当地体操」が初披露されました。



ズームアップ

会津若松との 子ども会交流!



8月17日(水)、少年自然の家で、「会津若松市・稚内市子ども会交流会」が初めて開催されました。古くから稚内と縁のある福島県会津若松市の子供達との交流を通じ、歴史的背景や地域間交流のあり方を学びました。交流会では記念品の交換、両市の歴史などについてのお話やゲームなどが行われ、交流を深めました。

フレンドシップ 今年で10周年!



8月21日(日)~25日(木)、今年で10年目を迎える「フレンドシップ2011」が行われ、群馬県太田市より小学校5・6年生75名が本市を訪れました。21日の「最北端・食マルシェ」や、稚内メガソーラー、稚内公園等の市内見学、西小中とのソーラン交流などを体験しました。

平和を願い 「ピース」に決定!



8月5日(金)、ノシャップ寒流水族館で3月27日に生まれたアザラシの赤ちゃんの命名式が行われました。名前は511通の応募の中から、潮見が丘小学校3年生の小野莉奈さんの「ピース」が採用されました。この名前には、地球上にあるすべての命あるものが平和(ピース)であるようにとの願いが込められています。

第52次日本南極地域観測隊 市川正和隊員の 南極越冬記 No.7



第52次南極観測隊員として南極の昭和基地で任務を行っている市川さんからの報告をご紹介します。

稚内の皆さんお元気ですか?観測隊の市川です。

今は8月中旬。南極では寒くなるはずの季節ですが、今年はブリザードが多い分、気温はあまり下がりません。7月に何度かマイナス30度になったので写真を



マイナス35度

撮ってみました。この日の最低気温はマイナス35.2度。稚内では体験できない気温ですが、風がほとんど吹いていなかったので、写真を撮る時間くらいならTシャツでも問題なしです。

◆南極教室を開催!

私の業務の一つに南極教室の実施というものがあります。隊員の出身校等とTV会議で交信するものですが、7月21日は私の番でした。交信してくれたのは南中学校と港小学校の皆さんです。

南極教室では昭和基地や南極の自然について紹介させていただきました。正直言うと隊員の仲間からも「稚内は吹雪もあるしアザラシもいるし紹介する内容が大変だね」と言われてしまうくらい、何を紹介すべきか悩みました。それでも仲間の協力のおかげで何とか終わることができました。

第52次隊の中には、子どもの頃から南極に憧れていた人や、最近になって自分でも行けるかもしれないという話を聞き、そ

の方法や身につけるべき資格を取得して公募で参加した人など、「夢」を叶えた隊員がたくさんいます。そんな仲間たちに、稚内の子どもたちへ夢を持つことの素晴らしさや、その夢が叶った時の感動を紹介してもらいました。私が出会った「夢」を叶えた人たちの話を直接聞いて、稚内の子どもたちに「夢は南極」なんて思ってもらえたら嬉しいですね。

◆稚内のあたたかさを感じた交信

通常は地元との交信は一人1回が原則ですが、極地研究所の配慮のおかげで私はもう1度、みなと南極まつりのイベントとして交信させていただきました。イベントですから誰が来てくれるかわからず、誰も来ないかもという可能性もありましたが、お世話になった方々や友人、たくさん子どもたちが来てくれました。準備中に通りかかった市民の方に「元気そうだね」と声をかけていただき、周りにいた隊員にも稚内のあたたかさが伝



南極教室の様子

わったようです。ご協力いただいた皆さん、お集まりいただいたみなさん、ありがとうございました。

8月に入り、野外活動が活発になってきました。10月に予定されている大陸へのオペレーションメンバーに入っているため、それまで怪我をすることなく、しっかりと準備をし、大陸を全身で感じてこようと思っています。戻った時には皆さんにも報告させていただきますね。

市ホームページでも、市川さんの報告を随時更新しています。
▼トップページにある下のバナーからご覧ください。

